

I 平成29年度事業報告書

自 平成29年4月 1日
至 平成30年3月31日

1. 会 員 数

平成29年度期首会員数	平成30年度期首会員数	期中異動
445名	432名	13名

2. 実施事業

(1) 行 事

1) 会員例会

委員長 岸野 吉晃
副委員長 平林 佳郎
副委員長 市原 好二

開催日等	テーマ	講 師
4 月 例 会 〈H29. 4. 14〉	「日本の成長と財政を考える ～アベノミクスと財政」	財務省大臣官房審議官 岡本 直之 氏
岐 阜 県 サ ミ ッ ト 〈H29. 5. 18〉	ーサミット記念講演会ー 「日本経済の行方と金融市場動向」	法政大学大学院教授 真壁 昭夫 氏
	ー岐阜県サミットー	<ゲスト> 岐阜県副知事 神門 純一 氏 岐阜県議会議長 村下 貴夫 氏
6 月 例 会 〈H29. 6. 16〉	「2030年へ向けて ～今、私が伝えたいこと～」	キャスター 国谷 裕子 氏
特 別 例 会 〈H29. 6. 23〉	「私を生きる」	内閣総理大臣夫人 安倍 昭恵 氏
7 月 例 会 〈H29. 7. 25〉	「緊迫する北朝鮮情勢と日本の課題」	関西大学経済学部教授 李 英和 氏
8 月 例 会 〈H29. 8. 24〉	「A I（人工知能）の現状と展望」	㈱KDDI 総合研究所リサーチフェロー 小林 雅一 氏
9 月 例 会 〈H29. 9. 20〉	「世界経済情勢と日本の経済政策」	慶應義塾大学総合政策学部教授 白井 さゆり 氏

10月例会 〈H29. 10. 24〉	「トランプ政権と米国経済の行方」	(株)双日総合研究所チーフエコノミスト 吉崎 達彦 氏
11月例会 〈H29. 11. 16〉	「女性の活躍が企業を変える ～管理職育成の鍵とダイバーシティー を生かす組織の要件」	明治大学副学長・ 情報コミュニケーション学部教授 牛尾 奈緒美 氏
12月例会 〈H29. 12. 11〉	「人を育てる ～オリンピック選手育成の現場から～」	北野建設(株)スキー部セレクトマネージャー 荻原 健司 氏
1月例会 〈H30. 1. 16〉	「2018年 世界と日本の経済展望」	(株)ニッセイ基礎研究所主席研究員 伊藤 さゆり 氏
2月例会 〈H30. 2. 20〉	「ガストロノミー（美食学）と これからの食文化」	学校法人辻料理学館理事長・ 辻調理師専門学校校長 辻 芳樹 氏
3月例会 〈H30. 3. 27〉	「2018年の世界と日本」	(一財)日本総合研究所会長 寺島 実郎 氏

2) 産学官懇談会

委員長 河合 進一
副委員長 堀 富士夫
副委員長 佐藤 光政

開催日等	テーマ	講師等
講演会 〈H29. 8. 2〉	「働き方改革に向けた取組み」	岐阜労働局 局長 稲原 俊浩 氏
講演会 〈H29. 10. 3〉	「認知症とサプリメント」	順天堂大学大学院 客員教授 田平 武 氏
視察 〈H29. 11. 22〉	「視察先：中部電力碧南火力発電所」 (愛知県碧南市)	石炭火力としては国内最大、世界でも 最大級の出力を行う火力発電所を視察。
講演会 〈H30. 2. 7〉	「持続可能な永続企業を目指す ～自然と地域と技術の共生～」	石坂産業(株)専務取締役 石坂 知子 氏

3) 幹事会

開催日	内 容	ゲスト
<H29. 8. 30>	世界経済・日本経済・東海経済	日本銀行名古屋支店長 内田 眞一 氏
<H30. 2. 26>	古田知事との意見交換会	岐阜県知事 古田 肇 氏

4) 地域懇談会

① 東濃地域懇談会

開催日	平成30年2月15日
テーマ	「日本人は命をどう考えたか」
講師	宮司・元NHKアナウンサー 宮田 修 氏
参加者	56名

② 中濃地域懇談会

開催日	平成30年2月16日
テーマ	「最近の地域経済の動向」
講師	岐阜財務事務所長 上野 榮作 氏
参加者	20名

③ 飛騨地域懇談会

開催日	平成30年3月13日
テーマ	「最近の地域経済の動向」
講師	岐阜財務事務所長 上野 榮作 氏
参加者	9名

(2) フォーラム事業

1) 企業経営フォーラム

委員長 柳原 幸一
副委員長 森田 槇子

目的	変化の激しい時代のなかで、企業経営は柔軟かつスピーディな対応を余儀なくされているため、企業経営の最新トレンドや直面する様々な課題について理解を深めるとともに意見交換する。なお、必要に応じ、国内外の先進企業などを視察する。
活動経過	<p>■第1回フォーラム 平成29年6月29日</p> <ul style="list-style-type: none">・講師 ヘルスケアオンライン(株) 代表取締役 谷田 昭吾 氏・テーマ 「『タニタの成功法則』 ～赤字会社を世界一にした経営～」 <p>■視察 平成29年9月28日～30日</p> <ul style="list-style-type: none">・視察先 青森県、北海道（函館） 大正時代に来日したドイツのマイスター、カール・レイモン氏が開設した「函館カール・レイモン」本社工場（ハム・ソーセージ製造所）の見学など。 <p>■第3回フォーラム 平成30年3月22日</p> <p>第一部・講師 東海財務局長 寺田 達史 氏</p> <ul style="list-style-type: none">・テーマ 「経済・金融情勢について」 <p>第二部・講師 金融庁総務企画局政策課 金融税制調整官 今井 利友 氏</p> <ul style="list-style-type: none">・テーマ 「つみたてNISAについて」

2) 同友フォーラム

委員長 碓井 洋

目 的	会員のニーズに対応するほか提言関係事業と連動して、社会に生起する諸課題について理解を深めるとともに意見交換する。
活動経過	<p>■第1回フォーラム 平成30年3月7日</p> <ul style="list-style-type: none">・講 師 (株)富士通総研経済研究所 主席研究員 金 堅敏 氏・テーマ 「『一带一路』構想とは ～中国にとっての意味と日本企業への示唆～」

(3) 提言関係事業

1) 女性活躍を考える委員会

委員長 辻 雅文
副委員長 藤吉 友子
副委員長 森田 順子

提言名	女性が活躍できる社会づくりを
活動方針	少子高齢化が進行するわが国において、女性が本来持つ能力を十分に発揮できなければ持続的な経済発展は望めないことから、女性の活躍を推進する施策を提案する。
活動経過	<ul style="list-style-type: none"> ■第1回委員会 平成29年7月5日 ・テーマ 「女性活躍を妨げている要因など」 ■第2回委員会 平成29年9月1日 ・テーマ 「提言の方向性」 ■第3回委員会 平成29年11月1日 ・テーマ 「提言の骨子」 ■提言記者発表 平成30年1月22日 ・出席者 正副委員長 ■野田聖子 総務大臣・女性活躍担当大臣との面談 平成30年2月10日 ・出席者 筆頭代表幹事、正副委員長
提言骨子	<p>1. 配偶者控除制度、国民年金第3号被保険者制度は、女性の就労を抑制する代表的なシステムであり、抜本的に見直すべきである。</p> <p>2. 女性活躍、特に既婚女性の就労は今後の保育政策の行方にかかっている。保育の中にアクティブ・シニア（健康で意欲的な概ね60歳以上の男女）の参加領域を広げていく施策を積極的に展開すべきである。具体的な施策例は次の通り。</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・3世代同居・近居の推進 ・「孫休暇」助成の推進 ・「企業主導型保育所」の運営費助成の拡大、職員配置基準の緩和 など </div> <p>3. 多治見、土岐、瑞浪市の東濃西部地域には現在、病児保育施設が設置されていない。既存の市民病院の小児科に併設するなど当施設を整備すべきである。</p> <p>4. わが国の政治分野での女性活躍は国際的に見ても遅れており、立法府自ら政治の場での女性活躍に真摯に取り組むべきである。</p>

2) 人手不足を考える委員会

委員長 澤田 栄
副委員長 國井 重宏

提言名	<p>“地域の幸せに繋がる” 人手不足対策を ー 定住し働きたいまち：岐阜を目指して</p>
活動方針	<p>岐阜県の有効求人倍率は全国有数の高さであり、人手不足は県内企業の喫緊の課題である。IoT や AI の活用、外国人労働者の受け入れなど人手不足に企業がどう対応すべきか、国や地方自治体に求める施策は何かについて検討する。</p>
活動経過	<p>■第1回委員会 平成29年7月21日 ・テーマ 「人手不足の現状、解決策」 ■第2回委員会 平成29年9月12日 ・テーマ 「提言の方向性」 ■第3回委員会 平成29年11月27日 ・テーマ 「提言の骨子」 ■提言記者発表 平成30年2月14日 ・出席者 正副委員長</p>
提言骨子	<p>人手不足対策が、“地域の継続的な発展とそこで働く人の幸せに繋がる” ことをコンセプトとして、次の提言をする。</p> <p>1. 「地域の若者の流出を防ぎ、東京圏から地元への新しいひとの流れをつくるべき」</p> <p>地域で生まれ育った若者の定着を図り【地域定着】、進学で流出した人材を呼び戻す【地元への流れ】。そのためには【岐阜の魅力】を積極的に発信・PRすることが必要である。 <具体的な施策例> ・小中学生への「職業体験」「企業見学」、高校生への「インターンシップ」を拡充する。 ・県は可能な限り多くの大学と「就職支援協定」を締結し UIJ ターンで若者を呼び戻す。 など</p> <p>2. 「人手不足克服のため生産性の向上に取り組むべき」</p> <p>少ない人員で経済活動を回すため、AI・IOT・ICT など先進技術の導入により省人・省力化を図るには、労使間でベクトルを共有し、労使一体となって生産性向上に真摯に取り組むことが重要である。</p>

(4) 経済団体との交流事業

1) 第30回全国経済同友会セミナー

開催日	平成29年4月20日～21日
テーマ	「新たな創造のシナリオ～復興・地方創生に向けて～」
内容	【基調講演】 講師：日本IBM(株) 執行役員最高技術責任者 久世 和資 氏 テーマ：「次世代情報技術と産業革命」 【特別講演】 講師：慈眼寺住職・大阿闍梨 塩沼 亮潤 氏 テーマ：「毎日が小さな修行」
会場	仙台国際センター
本会からの参加者	8名

2) 第26回経済同友会中央日本地区会議

当会議は、わが国の中央地域に位置する8同友会の幹部が、交流を深めるとともに広域的テーマについて意見交換する会合。

開催日	平成29年9月5日
出席者	中村 正 筆頭代表幹事 藤吉 友子 女性活躍を考える委員会副委員長 國井 重宏 人手不足を考える委員会副委員長
テーマ	「北陸新幹線、開業前後の変化と課題」
参加同友会	岐阜県、中部、静岡、富山、金沢、福井、新潟、山梨
会場	ANAクラウンプラザホテル金沢

3) 岐阜県下財界新春懇親会

開催日	平成30年1月12日
共催	岐阜県商工会議所連合会 岐阜県経営者協会

3. 会議

1) 総 会

① 平成29年度定時総会

日 時	平成29年6月16日 午後3時40分
出席会員	327名（書面表決委任者190名を含む）
議 案	第1号議案 平成28年度事業報告書・財務諸表の件 第2号議案 定款及び専務理事の報酬等に関する規定一部変更の件 第3号議案 理事の辞任に伴う後任者選任及び増員による理事選任の件

② 平成29年度臨時総会

日 時	平成30年3月27日 午後3時30分
出席会員	324名（書面表決委任者196名を含む）
議 案	第1号議案 平成30年度事業計画・予算の件

2) 理事会

回	開 催 日	議 案 及 び 報 告
1	H. 29. 5. 18	平成28年度事業報告及び決算の件、理事候補者選任の件、「常務理事」新設の件、常任幹事補充の件
2	H. 29. 12. 11	中間決算の件、常任幹事・幹事補充の件
3	H. 30. 1. 16	平成30年度事業計画、予算の件
4	H. 30. 3. 27	次期理事・監事候補者の件、常任幹事補充の件

3) 常任幹事会

回	開 催 日	議 案 及 び 報 告
1	H. 29. 12. 11	中間決算、常任幹事・幹事補充の件
2	H. 30. 2. 20	入会、平成30年度事業計画・予算案の件